

名古屋丸の内ロータリークラブ
Nagoya Marunouchi Rotary Club
Weekly Report

2023-24 年度 R.I. テーマ
会長:ゴードン R. マッキナリー

Rotary
Club of Nagoya Marunouchi



世界に希望を生み出そう

承認
会長
幹事
事務局

1995.03.28
松尾 雄二郎
今村 昌根
名古屋クレストンホテル
1007号
名古屋市中区栄 3-29-1

TEL 052-263-1324
FAX 052-263-0730
E-mail seinan1@fancy.ocn.ne.jp

例会会場:名古屋クレストンホテル
(TEL: 052-264-8000)

例会曜日:木曜日 12時30分
クラブ会報広報委員長:黒田 覇太郎
HP: <http://nagoya-marunouchi-rc.org/>

松尾 雄二郎 会長 年度目標 : 親睦、親睦、そして親睦、楽しんで 30周年につなげましょう

第1255回 例会 No. 31 令和6年 5月16日(木)

- ローターソング 「我等の生業」「四つのテスト」
- 出席報告 会員46名中 14名出席
- 出席率 34.15% 出席計算人数41名
- スピーカー 名古屋中央 RAC 会長 大坪和樹さん

会長挨拶

会長代理 長谷川龍伸

皆さんこんにちは。

今日は会長も副会長もいらっしゃらないということで、急遽私が挨拶をさせていただくことになりました。

松尾会長の兄上が亡くなったと話を聞きまして、謹んでご冥福をお祈りしたいと思います。



このゴールデンウィークに旅行でフランスに行ってきましたので、その話をさせていただこうかと思います。いわゆるツアーではなくて、妻と2人で個人で、あそこ行こうという話を決めて作った旅行でしたので、非常にその分不安も大きくありました。特に三つありまして、一つはスリが大変だって話を聞いていました。それから二つ目が、トコジラミがいっぱいいるって話。三つ目が言語ですね。まずスリにつきましては、パリ中心で少し郊外に足を伸ばすような予定でいろんなところに行ったんですけども、危ない思いを全くしなかったですね。結構人が多いところにも行きましたが、それらしいことは全くありませんでした。それから2番目のトコジラミ、これを妻がえらく心配して、ビニール袋だの薬だのいろいろ持っていったんですけども、全く出番がなく、それらしい気配は全くなかったです。これは何かロシアがフランスに嫌がらせしようとして、デマを流したという説があるんですけど、確かにそうかもしれないなと思いました。

フランス語ですけども、今年に入ってからちょっと勉強したんですけども、非常に難しいしとても無理だと。三つだけ覚えてい

うと思いました。一つは「すみません」ですね。

Excuse me が言えるとその後何か話になるかなと思、これは Excusez-moi と言います。二つ目が「私は何かしたい」というとき、Je voudrais。「どこかに行きたい」という時は je veux aller quelque part という言い方があるということです。それから三つ目、フランスはトイレが少ないって聞いてましたので、「トイレはどこですか。」

Où sont les toilettes. というそうです。この3つくらいを覚えていまして、それからお店に入る時に、妻とふたりだということと言わなければいけないだろうと思って、nous sommes deux のこの4つを覚えていきました。これであるとは片言の英語で何とかなりました。

行くのに大変で、片道 14 時間くらいかかります。行きは要するにロシアの上が通れないので、北極海の上を通っていきます。帰りはまた同じ北極海の上かと思ったら、今度はゴビ砂漠の上、中国の上を通るということで、ロシアを遠巻きにするような行程で、その分時間は 2 時間か 3 時間長かったんじゃないかなと思います。

あとパリというとオリンピックが近いということで、それらしい雰囲気はありました。コンコルド広場のオペリスクがあるところに観客席を作っていたり。ちょうど建設中でしたけども、警察官が銃を持ってちらほら立っていたり、そんな感じはありました。それから円安がどうかというところなんですけども、ちょうど私達のゴールデンウィークの旅行中に日銀の為替介入があったみたいで、だいぶ上がったりがったりしたようですが、確かに食事代とか高いんですね。高いんだけどそれが円安のために高く感じるのか、そもそも物価が高いのかがよくわからないので、だからそもそも物価がまずは高いんじゃないかなと思いました。今後、皆さんの中でオリンピック観戦に行かれる方もいらっしゃるかと思いますので、何か参考になればとお話しました。ということでピンチヒッターでした。ありがとうございました。

ニコBOX

●本日は名古屋中央ローターアクトクラブの活動報告として会長の大坪和樹さんにお話をうかがいます。よろしくお願いいたします。

今村幹事、恵利、岩田、田中、西川、八木、加藤、長谷川 亀井、河原、水野、後藤、堀江亮介、杉江(敬称略)

●春の健康感謝ニコニコ Day 今村幹事以下 14 名

本日合計 56,000 円

米山功労者表彰

米山功労者第1回となられた亀井克典さんへ、記念の賞状を長谷川会長代理より伝達いたしました。ご協力ありがとうございます。



青少年奉仕月間卓話

「ローターアクト活動報告」

名古屋中央 RAC 会長 大坪和樹

初めに、先週は私が日程をすっかり間違えておりました、大変ご迷惑おかけして申し訳ございませんでした。名古屋中央ローターアクトクラブの活動報告させていただきます。よろしくお願いします。

・活動日：隔週水曜日

・活動場所：今池ガスビル

・クラブテーマ：『躍』

・提唱ロータークラブ

名古屋みなとロータークラブ
名古屋丸の内ロータークラブ
名古屋名駅ロータークラブ

・協力ロータークラブ

名古屋西ロータークラブ

1. クラブ会員数
2. 活動報告
3. 現状の課題
4. 今後の活動予定

当クラブは今年度会員9名で（男性会員が7名、女性会員が2名）スタートしました。そのうち1名が休会でしたので実質は8名でスタートしております。ただ4月の第1例会が終わった時点で集計をしたところ、実際に参加している会員がそのうちの3名から4名というのが現状になっていて、出席率としても50%には満たない状態で、大体30%ぐらいというのが常になっています。他のローターアクトクラブの皆さんにも参加していただいているので、何とか例会の形になっているというのが今の状態です。

欠席する理由というのは人それぞれあり、仕事で忙しくて都合がつかないことであったり、クラブの例会内容があまり楽しくないと思ってる方も、もしかしたら中にはいるかもしれないので、そこは反省点であったり課題点というところになってます。

実際の活動報告に移させていただきます。まず7月の第1例会に、前任の早川から会長の引継ぎ会を行いました。7月の第2例会の内容は、「名古屋をゆっくり眺める」というものでした。実は私の出身が大阪の此花区でして、名古屋のことをあまり知らないんです。他のクラブの方たちも大体郊

外から名古屋に来てるといの方がほとんどですので、このときは名古屋みなとロータークラブの方に講話をお願いして、名古屋の歴史やどのようにこれまで展望をしてきたかというところをお話いただきました。

8月の第1例会は「緑の散歩道」です。5年ぐらい前のラックワングランプリというもので当クラブが名古屋市西区の方で草むしりと植樹をしてその後、保護活動の継続事業としてグランプリ受賞しました。継続事業で年に3回から4回ぐらい、暑い時期を中心に例会を組んでみんなで草取りをしています。遠方の田原のクラブの方で、親しくしていただいている方がいまして、わざわざ朝早くお越しいただいて一緒に草取りをしました。その後は名古屋に移動して食事会を懇親会のような形で開かせていただきました。



10月の第1例会では、「生き物の生態について知ろう」ということで、当クラブの安間という者が立案した企画になるんですけども、名古屋港水族館へ出向きまして、職員の方と何ヶ月もかけて打ち合わせをして、10月に実施しました。今の生態系がいろいろと変わりつつあるというところで、今何がその問題になっているのかというのは、我々はニュースでしかわからないところですが、職員の方から実際に本当のところどうなんだろうということと、これからその課題で我々人間が、どのように自然の保護活動をしていけばいいのかということを約1時間ぐらい説明していただいた後で、館内を見学しました。

11月の第2例回はクラブの招待行事ということで、「私達の知らない麻雀の世界」として当クラブの会員が立案しました。



今の若い人たちはあまり麻雀をやらないということを立て

者が言ってまして、当人自身もやったことがなく、ただ興味はある。でもルール等々がわからない。いきなりやるというのなかなか難しいということで、名古屋名駅ロータリークラブの会員さんで麻雀大好きという方が3人ぐらいいらっしゃったので、ご協力をお願いして主導で動いていただいた活動になります。大体3時間ぐらい開催したのですが、私自身も当日参加しましたが、本当にあつという間でルールを覚えるのはもう全然できませんでした。指導者の方たちのフォロー等々もありながら、何とか終わることができました。こちらローターアクトの全クラブから、最低1名以上出席していただいて、30名強と結構な人数が集まって活動でき、とても良かったかなと思っております。



12月の第1例会は「防災意識を高める」ということで、名古屋市中消防署の方に直接アポイントを取って実施した企画です。昨今本当に自然災害がすごく多くて、ニュースでも頻繁に取り上げられています。たかが雨でも大変な水害被害が出たというのを多く見受けられる印象もあったので、今は自然環境というか、地球を取り巻く環境というのはどうなっているのかということの説明していただきました。この企画は継続でやりたいということをお願いしておきました。日程調整をさせてもらっている段階ですが、また消防署の方に来ていただいて、講話をしていただこうと考えております。

2024年1月に入りまして第1例会のテーマが「記憶に残る体験を」ということで、松坂屋の向かいぐらいに陶芸体験ができる工房が建物の中にあリまして、そこで大体1時間半ぐらい実際にろくろを回して、自分で好きなものを作ってみようということで企画した、陶芸体験になります。こちらは実際に作品としてはまだできていない状態で、細かいところまではお伝えできませんが、なかなか完成度は高かったのではないかと個人的には思っていて、届くのを楽しみにしています。こういった体験というのはなかなか社会人になってもできないことなので、こちら継続としてやる機会ができればいいなということで、来期の活動の中にも組み込みたいと思っております。

1月の第2例会は「星を眺めよう」ということで、名古屋市科学館のプラネタリウムにみんなで行ってきました。名古屋は灯がなくなる街と言われており、星を眺めることもできない、星が出ていても明るくて見えないということもあったので、非日常的な体験をしようということで企画しました。3月の第2例会は、北海道の赤平ローターアクトクラブと合同例会という形でWeb会議を使って、意見交換であったり交流会をさせていただきました。当クラブの遠山という女性会

員が、年次大会で全国研修で集まるときにそこの方とたまたま交流があり、何か企画することができないかということで、オンラインという形になりました。

5月の第1例会はゴールデンウィーク中になりますが、5月4日の土曜日に久屋大通り公園でフェアトレードコーヒーのイベントがあり、当クラブは毎年例会に組み込んでおりまして、自分で参加申し込みをして、スタッフの運営側として回らせていただいています。フェアトレード自体が、我々にはなかなかなじみのない言葉で、そういう勉強も兼ねて参加させてもらいました。私自身はスタッフ側ではなくて、出展するコーヒーメーカーさんや企業さんから個別で要請が入りまして、店舗側で販売員として実際にやらせていただきました。

【名古屋中央 RAC 現状の課題】

冒頭にも申し上げた通り、まず自クラブの出席率が非常に悪く、出席率は大体30%から多くても50%ぐらいになっています。理由は様々なんですけども、活動内容が魅力的ではないとか仕事忙しい、例会が平日の夜ということもあって、他クラブから参加できないのも一つ要因としてあるのかなと考えております。

あと、課題として他クラブとの交流ということで、私と来期の会長とふたりで手分けをして、私は三河エリア、彼は名古屋エリアのローターアクトクラブの例会に参加をして名前を売りながら、当クラブにも参加してくださいというお願いをこの1年はやってきました。

来年の会長は安間がやらせていただきますので、またご挨拶させていただく形にはなると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。幹事は先日決まりまして、板橋という企業派遣で来ている、所属して1年未満の会員になります。安間と私でサポートしながら来年1年はやってまいります。

来期の会員数についてですが、冒頭の紹介では9名、休会1名の実質8名スタートでしたが、今期で退会される会員が3名おります。そうすると9名から6名となり、休会の方はそのまま継続で休会するので、実質5名になります。先日、名古屋みなとロータリークラブの方のご紹介で、1名企業派遣という形で入っていただけということで1名増えました。また新たに、つい昨日一昨日ぐらいの話なんですけども、またそれもみなとロータリーの方からもう1名入りたいという方がみえるということで、その方が入会すると最大7名という形になります。ただ、それでもやっぱり人数が少ない状態ですので、活動できる範囲や内容がどうしても限られてしまい、他クラブやロータリーの皆様に本当にご迷惑をおかけしています。皆さんに不躰なお願いで本当に恐縮なんですけども、1人でも会員を増やして、できることをどんどんやって交流を深めていってそれが環境活動であったりだとか、ロータリーの使命というところに繋げていきたいと考えております。実際そこにすらたどり着けてない、スタート地点にすら立てていない、というのが個人的な思いです。皆様のお力を何とかお借りして、1人でも多くの会員に入っていたるように、ちょっとお声がけしていただくとありがたいです。

活動報告は以上になります。ありがとうございました。

【質疑応答】

Q 会費はいくらぐらいですか？

A 年会費は2万です。現在学生はいませんが学生の方は1万

で、途中入会される方は月割にしています。

Q 企業派遣の会員というのは、会費を企業が出すというそういう発想ですか？

A はい。私もその1人です。入ったきっかけは豊橋ロータリークラブの方で弘中という者が在籍していて、その前任の会長の早川という者が豊橋のロータリークラブの例会に行った際に、うちの弘中とたまたま接点がそこでもまして、中央の方で人がいないので、どなたか紹介してもらえないかということで、私が入らせていただいたわけなんですけど、基本的には今在籍している方は企業派遣という形になります。

Q 今、企業派遣は何人ぐらいですか？

A 全員企業派遣ですね。
業種は、私は建設業ですけども、警備保障会社の方がいらっしゃるりとか、様々です。個人で経営されてる方もいらっしゃるし、皆さん企業派遣で様々な業種の方に来ていただいている形になってます。

A ローターアクトではどう勧誘されるのですか？

Q その時に活動内容の紹介など、そんな話をします。

A 魅力を感じないと入会したいと思わないので。

Q 活動の応募形態としては、ウェブでアクティブという応募サイトがあり、これは愛知のロータリーアクトの方みんな使ってるサイトになります。まずそちらで入会希望者から連絡があり、クラブによってやり方は違いますが、私は日程調整させていただいて、実際にその希望者の方とお目にかかります。その際には、どういった活動をやっているのかというところで、まずクラブ計画書に沿って、ロータリーアクトとは何だとか、どういったことをやってる活動団体だということを簡単に説明します。環境活動を例にすると、そういったことに貢献する方法、環境貢献するにはどうすればいいかというのを常に考え、それに向かって達成するためにはどういうことが必要かというのを、簡単に説明させていただいた上で、最終的にはほかの団体と比較していただいて当人の判断になります。全部が全部かしまった例会ではないというところもあり、その辺は隠してもしょうがないことですのでざっくりばらんにお話させていただいて、その方の質問にお答えしてご判断いただくという形になっております。多分その辺はやり方の研修を年に何回かやらせていただいているので、どのクラブも同じような大体似たり寄ったりのやり方であまり遜色はないかなとは感じてはおります。

Q 一番若いのは大学生ですか？

A 現在、若い方は当クラブにはいないんですけども、19歳の大学1年生の方が一番若いですね。それより下の高校生はインターアクトクラブに入らせていただくという形になります。今、愛知の地区で最高齢は34歳の方です。在籍年齢制限がなくなりました。一応補足として、一番会員数が多いクラブは、名古屋熱田ロータリークラブで、年明け早々に開催された会長幹事会のクラブ報告で、50人を超えた、というのを聞きまして、全国的に見てももうトップクラスだということです。

Q どういうところが違うのでしょうか。

A 圧倒的に違うのは、熱田ロータリークラブさんは大学生が非常に多くて、ほとんどが学生なんです。社会人の方も当然いらっしゃるんですけど、5割以上は学生の方で占めてまして、ただ出席率としては、3分の1は出席してないとの事でしたので、例会は20人から30人ぐらいの状態、毎回平日の夜に開催されています。

何が違うかがちょっと正直わからなくて、我々も活動の紹介をするホームページの更新をしながら、呼びかけを継続していかなくちゃいけないなというところではあります。

Q 先ほど卒業する方がと言われましたが、卒業後はどこへ入られるのでしょうか？

A それも人それぞれではあるんですけど、もうロータリーアクトやロータリーの方と全く関わりを持たないって方もいますし、ご家族の方がロータリーにいらっしゃるという方ですと、そのままそちらのクラブに加入するっていう形の方もいます。ただみなとロータリーさんも名駅ロータリーさんも、まだ30代で入るのはさすがに早いので、10年ぐらいは待つて、40代になったら入ってくださいと一応言われています。気を使っているのかなと思います。皆さん卒業してからのシーンというか方向は様々ではあるんですけども、それでも在籍してる方との交流、交友はずっと継続してあることなので、その辺は大事にしてくださいねと卒業される方には伝えております。

次回の例会予定

5月30日(木)「会員卓話」河原照忠さん
「各同好会報告」など

ハイライトよねやま 第290号より抜粋転載

「被災者の心を温める炊き出しボランティア」

4月27日、第2610地区小矢部中RC・南砺RCによる能登半島地震合同支援活動に同地区米山学友会の2人が参加しました。当日、会場となる輪島市輪島マリンタウンにて11時から15時まで炊き出しを実施。白川コロッケ(1000個)、揚げタコ焼き(6個入り×300食)、フライドポテト(300食)、ポップコーン(300食)、焼きいも(150本)を、被災した方々へ提供しました。参加した学友会監事の範雋偉(ハンジュンイ)さん(2015-17/小矢部RC)は今回のボランティア参加について、「ひとりでも多くの方に温かさを届けられたらと思います。今後も参加者の安全を確保しながら、被災者の方々の力になれるように努力していきます。皆さまのご支援とご協力を、心よりお願い申し上げます」と述べました。



炊き出しを行う範さん(中央男性)